2012 年 9 月 25 日

関係各位

会社名：三井物産株式会社
代表者名：代表取締役社長　飯島彰己
（コード番号：8031）
本社所在地：東京都千代田区大手町
一丁目 2 番 1 号

西豪州ローブ・リバー ジョイントベンチャーの鉄鉱石積出港の拡張

三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、社長：飯島彰己、以下「三井物産」）は、世界有数の鉱物資源会社リオ・ティント社（豪・英）と共同運営を行っている、西オーストラリア州鉄鉱石事業であるローブ・リバー ジョイントベンチャー（以下「ローブ J/V」：リオ・ティント社 53%、三井物産 33%、新日本製鐵株式会社 10.5%、住友金属工業株式会社 3.5%）において、鉄鉱石積出港であるケープ・ランバート港の年間出荷能力を更に 70 百万トン追加すると共に、既存の港湾付帯設備を更新する拡張投資（以下「本拡張」）の推進を決定しました。
ケープ・ランバート港の年間出荷能力は、現在 80 百万トンから 1 億 33 百万トンへ拡張中ですが、本拡張により同港の出荷能力は 2 億 3 百万トン（2015 年（暦年）上期に初出荷予定）となります。

本拡張に伴い、三井物産はオーストラリアの 100%子会社ミツイ・アイアン・オア・ディベロップメント社を通じて約 15 億豪ドル（約 1,240 億円）の投資を行うことになります。本拡張はローブ J/V の承認を経て、実行される予定です。

三井物産はローブ J/V を通じ、中長期的に見込まれる鉄鉱石の世界的な需要増に対応してまいります。

本件に関する問合せ先：三井物産（株）
IR 部　　TEL：03（3285）7910
広報部報道室　　TEL：03（3285）6645

ご注意：
本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述は、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期及び見解に基づくものであり、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性及びその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。また、本発表資料は、上記事実の発表を目的として作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。